

2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 3 月 12 日作成)

小委員会名	地震荷重比較検討小委員会		主 査 名：高田毅士 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (荷重運営委員会)		委員長名：和田 章 主 査 名：神田 順
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2007 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・各種耐震設計法における設計用地震荷重の比較 ・「建築物荷重指針」の英文化 		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：あり		
	井上超(間組) 石井透(清水建設) 石田寛(鹿島建設) 石山祐二(北海道大) 曾田五月也(早大) 田村良一(篠塚研) 中村博一(フォーラムエイト) 藤堂正喜(戸田建設) 福島誠一郎(東電設計) 松村和雄(鹿児島大)		
設置 WG (WG 名:目的)			
2006 年度予算	260,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：なし	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. シンポジウム「建築・土木構造物の要求性能と地震荷重」 (10月19日実施) 参加者数 87 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 土木分野の専門家も交えてシンポジウムが開催できた 2. 今後の活動課題(地域係数、用途係数、確率地図活用、建築・土木の共通枠組み)が抽出でき十分達成できた
委員会活動の問題点・課題	1. 委員の固定化が問題、もっと若手委員を入れる必要有り 2. 振動運営委員会との交流が必要 3. 土木との係わりが重要